福井歯科専門学校

３６期生３年生

シラバス

講義要項

実務経験のある教員等による授業科目の概要

科目	講師名	実務経験		授業の概要
専門基礎総論①	樋口　隆	有	歯科医師、医師他	医師や歯科医師業務に従事した実務経験を活かし、人体の構造と機能を総合的に学習し、国家試験に対応できるように指導している
口腔病理学②	村崎　敏也	有	歯科医師	歯科医院において歯科診療業務に従事している実務経験を活かし、口腔衛生学の知識の整理と国家試験に対応できるように指導している
口腔衛生学	浅井　友啓	有	歯科医師、薬剤師	歯科医院において歯科診療業務に従事している実務経験を活かし、口腔病理学の知識の整理と国家試験に対応できるように指導している
衛生学･公衆衛生学②	坂部　敬子	有	大学助教	大学での実務経験を活かし、衛生学・口腔衛生学の知識の整理と国家試験に対応できるように指導している
専門基礎総論②	浅井　友啓	有	歯科医師他	医師や歯科医師業務に従事した実務経験を活かし、疾病の成り立ち及び回復過程の促進を総合的に学習し、国家試験に対応できるように指導している
歯科衛生士概論②	上村　愛実　川端　登代美 高崎　裕美	有	歯科衛生士	病院歯科において歯科診療業務に従事した実務経験を活かし、医療人として職業的使命感をもつことができるように指導している
歯科保健指導実習③	春木　かおり	有	歯科衛生士	歯科医院において歯科衛生士業務に従事している実務経験を活かし、これまで歯科保健指導・歯科予防処置で習得した知識と技術を活かし、臨床の場で実践できる能力を身につけられるように指導している
歯科診療補助総論	前川　雄紀	有	歯科医師	歯科医院において歯科診療業務に従事している実務経験を活かし、歯科診療補助全般を総合的に学習し、国家試験に対応できるように指導している
臨床歯科総論①	佐野　和生	有	歯科医師他	歯科医院において歯科診療業務に従事している実務経験を活かし、主に臨床歯科医学を総合的に学習し、国家試験対応できるように指導している
臨床歯科総論②	瀧波　宏至	有	歯科医師他	歯科医院において歯科診療業務に従事している実務経験を活かし、主に臨床歯科医学を総合的に学習し、国家試験合格に対応できるように指導している
臨床実習②	臨床実習講師	有	歯科医師 歯科衛生士	歯科医院において歯科診療業務に従事している実務経験を活かし、口腔保健の専門職として臨床の場（歯科診療所･病院歯科･高齢者施設･矯正歯科･口腔保健センター）において実施できる能力を身につけられるように指導している
介護概論	坂口昌宏　北川理恵 石田佳代子　長谷川大輔 大橋恵	有	大学准教授 介護支援専門員	大学や介護施設での実務経験を活かし、歯科口腔介護に係る法的・制度的背景とチームケアについて理解できるように指導している
接遇作法･話法②	上村　泰子	有	接遇インストラクター	接遇インストラクターとして従事している実務経験を活かし、歯科衛生士として社会で働く上での常識マナーを身につけられるように指導している

科目名	専門基礎総論①	年次	3	単位	1
				時間数	24
講師名	樋口　隆	授業形態	講義	授業回数	10
到達目標	人体の構造と機能を総合的に学習していく 1、2年次のまとめ				
学習上の注意事項					
評価方法	■　筆記試験　　□　実技試験　　□　口頭試験　　□　その他（　　）				
教科書	歯科衛生学シリーズ　　解剖学・組織発生学・生理学 歯科衛生学シリーズ　　口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 最新歯科衛生士教本　　栄養と代謝				
教材					

授業計画	
回数	授業内容
1	解剖学まとめ（鈴木清史先生）
2	生理学まとめ（樋口先生）
3	生理学まとめ（樋口先生）
4	生化学まとめ（森先生）
5	組織発生学まとめ（嶋田先生）
6	口腔解剖学①まとめ（佐野先生）
7	口腔解剖学①まとめ（佐野先生）
8	口腔解剖学②まとめ（中村先生）

授業計画	
回数	授業内容
9	口腔解剖学②まとめ（中村先生）
10	口腔生理学まとめ（鈴木孝雄先生）

科目名	口腔病理学②	年次	3	単位	1
				時間数	16
講師名	村崎　敏也	授業形態	講義	授業回数	4
到達目標	2年次に学習した内容のまとめを行い国家試験に対応できるよう十分な知識の充実を図る				
学習上の注意事項	国家試験によく出題される問題を検討し、間違いやすい箇所等を把握する				
評価方法	■　筆記試験　　□　実技試験　　□　口頭試験　　□　その他（　　）				
教科書	最新歯科衛生士教本　病理学・口腔病理学				
教材	プリント				

授業計画	
回数	授業内容
1	口腔癌・前癌病変
2	唾液腺疾患
3	全身疾患と口腔病変
4	まとめ

科目名	口腔衛生学	年次	3	単位	1
				時間数	28
講師名	淺井　友啓	授業形態	講義	授業回数	7
到達目標	1、２年生で理解した口腔衛生学の知識の整理と国家試験に対する各自の実力を把握する。				
学習上の注意事項	口腔衛生学の理解度を認識し、国家試験までの学習計画を立てる。 各自の学習計画により学力向上に努める。				
評価方法	■　筆記試験　　□　実技試験　　□　口頭試験　　□　その他（　　）				
教科書	最新歯科衛生士教本　保健生態学　第３版 最新歯科衛生士教本　保健情報統計学				
教材					

授業計画	
回数	授業内容
1	１・２年生の復習
2	１・２年生の復習
3	演習・開設
4	重要項目（フッ素など）について　復習　問題解説
5	重要項目（フッ素など）について　復習　問題解説
6	まとめ
7	まとめ

科目名	衛生学・公衆衛生学②	年次	3	単位	1
				時間数	20
講師名	坂部　敬子	授業形態	講義	授業回数	5
到達目標	１年次に学習した内容のまとめを行い、国家試験に対応できるよう十分な知識の充実を図る。				
学習上の注意事項					
評価方法	■　筆記試験　　□　実技試験　　□　口頭試験　　□　その他（　　）				
教科書	最新歯科衛生士教本　保健生態学　第３版				
教材	プリント				

授業計画	
回数	授業内容
1	学校保健活動、児童・生徒の心の健康問題、食育、産業保健、職業性疾病
2	成人・老人保健、生活習慣病、介護保険法、介護予防における歯科衛生士の役割
3	精神保健、心の健康と障害
4	ライフサイクルから見た精神保健対策
5	まとめ

科目名	専門基礎総論②	年次	3	単位	1
				時間数	24
講師名	淺井　友啓	授業形態	講義	授業回数	7
到達目標	疾病の成り立ち及び回復過程の促進を総合的に学習し、知識を深める（特に口腔関係）				
学習上の注意事項					
評価方法	■　筆記試験　　□　実技試験　　□　口頭試験　　□　その他（　　）				
教科書	最新歯科衛生士教本　微生物学 最新歯科衛生士教本　薬理学 最新歯科衛生学教本　保健生態学　第3版 最新歯科衛生士教本　保健情報統計学				
教材					

授業計画	
回数	授業内容
1	微生物･口腔微生物学まとめ（松浦先生）
2	薬理学まとめ（塚本先生）
3	歯科薬理学まとめ（淺井先生）
4	病理学まとめ（水谷先生）
5	口腔衛生学・統計①まとめ（中廣先生）
6	口腔衛生学・統計②まとめ（谷畠先生）
7	衛生行政・社会福祉まとめ（坂口先生）
8	

科目名	歯科衛生士概論②	年次	3	単位	1
				時間数	16
講師名	上村愛実・川端登代美・高崎裕美	授業形態	講義	授業回数	4
到達目標	２年次の臨床実習での学びと反省点を活かし、医療人として日常の自己管理ができ、 主体的な学びから職業的使命感を持つことができる。				
学習上の注意事項	実習要項を熟読し、報告・連絡・相談を徹底すること				
評価方法	□　筆記試験　　□　実技試験　　□　口頭試験　　■　その他（レポート、提出物）				
教科書					
教材	配付資料				

授業計画	
回数	授業内容
1	臨床実習における心構え、歯科衛生士の役割、個別指導
2	臨床実習（歯科医院、病院、口腔保健センター）説明
3	実習集計
4	まとめ（社会にでるにあたり）

科目名	歯科保健指導実習③	年次	3	単位	1
				時間数	32
講師名	春木　かおり	授業形態	講義	授業回数	8
到達目標	一般目標　これまでの歯科保健指導・歯科予防処置で習得した知識と技術を活かし、臨床の場で実践できる能力を身につける。 到達目標　①歯科保健行動に関わる理論と行動変容を説明できる。 ②保健行動と行動変容の手法を理解し、活用できる。 ③歯科衛生過程のマネジメントサイクルを理解し、全体像を説明できる。 ④歯科衛生過程における各構成要素の目的を説明できる。 ⑤歯科衛生過程における書面化（業務記録）の意義を説明できる。				
学習上の注意事項	幅広い知識や情報の収集を心がける。				
評価方法	■　筆記試験　　□　実技試験　　□　口頭試験　　■　その他（　課題の取り組み　） 筆記試験50点分、課題の取り組みで50点分とする。				
教科書	最新歯科衛生士教本　歯科予防処置論・歯科保健指導論 最新歯科衛生士教本　歯周病学　第２版 ポイントチェック　歯科衛生士国家試験対策⑤				
教材					

授業計画	
回数	授業内容
1	保健行動支援のための基礎知識　ストレスマネジメント
2	歯科衛生士過程　演習 歯科衛生過程の概要 歯科衛生過程とは 歯科衛生過程の6つの構成要素 歯科衛生過程の各構成要素 歯科衛生アセスメント
3	歯科衛生過程の各構成要素 歯科衛生アセスメント
4	歯科衛生過程の各構成要素 歯科衛生診断
5	歯科衛生士過程　患者（家族）演習 歯科衛生計画
6	歯科衛生過程の各構成要素 歯科衛生介入
7	歯科衛生過程の構成要素 歯科衛生評価
8	まとめ

科目名	歯科診療補助総論	年次	3	単位	1
				時間数	28
講師名	前川　雄紀	授業形態	講義	授業回数	7
到達目標	個々の臨床科目の知識すべてが必要であるが、全てを復習することは不可能である。そのためここでは、各科目の特色ある診療方法、使用器具の種類と特徴を見直し、理解することに重点を置く。 個々の臨床科目の特徴を理解し診療に合わせて器具の準備、器具の用途、使用方法を理解する。 安全かつスムーズに診療が行えるように、知識を整理し、医療事故防止のための振るまい方、また事故等の速やかな対応を理解する。				
学習上の注意事項	講義の内容においては、時間的に細部まで踏み込めないため全体の流れを知るように努める。 細部においては各自、過去の国家試験で出題させているところを学習すること。				
評価方法	■　筆記試験　　□　実技試験　　□　口頭試験　　□　その他（　　）				
教科書	最新歯科衛生士教本　歯科診療補助論　第２版 最新歯科衛生士教本　歯科材料 最新歯科衛生士教本　歯科機器 ポイントチェック　歯科衛生士国家試験対策⑤				
教材					

授業計画	
回数	授業内容
1	診療開始準備（朝の清掃から消毒薬調整等） 診査用器材準備（基本セットや各種検査器具） 歯科診療中の主な事故とその対策
2	主要材料の種類と取り扱い
3	保存診療時の診療補助 歯内療法診療時の診療補助 歯周療法診療時の診療補助
4	小児歯科診療時の診療補助 矯正歯科診療時の診療補助
5	口腔外科診療時の診療補助 補綴治療時の診療補助
6	高齢者治療時の診療補助 障害者治療時の診療補助
7	まとめ

科目名	臨床歯科総論①	年次	3	単位	1
				時間数	24
講師名	佐野　和生	授業形態	講義	授業回数	10
到達目標	特に臨床歯科医学を総合的に学習し知識を深める				
学習上の注意事項					
評価方法	■　筆記試験　　□　実技試験　　□　口頭試験　　□　その他（　　）				
教科書	最新歯科衛生士教本　保存修復学・歯内療法学 最新歯科衛生士教本　口腔外科・歯科麻酔 歯科衛生学シリーズ　障害者歯科学 歯科衛生学シリーズ　高齢者歯科学 最新歯科衛生士教本　歯科予防処置論・歯科保健指導論　第2版 歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション　第2版 最新歯科衛生士教本　栄養と代謝 最新歯科衛生士教本　歯科診療補助論　第2版 最新歯科衛生士教本　歯科材料学 最新歯科衛生士教本　臨床検査				
教材					

授業計画	
回数	授業内容
1	保存修復学まとめ（鈴木先生）
2	歯内療法学まとめ（遠矢東誠先生）
3	口腔外科学①まとめ（佐野先生）
4	口腔外科学②まとめ（山口先生）
5	障害者歯科学（山下先生）
6	高齢者歯科学（齊藤先生）
7	栄養学まとめ（北山先生）
8	歯科材料学まとめ（岡田好広先生）

授業計画	
回数	授業内容
9	摂食嚥下リハビリテーション学まとめ（伊藤先生）
10	臨床検査まとめ（川崎先生）

科目名	臨床歯科総論②	年次	3	単位	1
				時間数	20
講師名	瀧波　宏至	授業形態	講義	授業回数	7
到達目標	特に臨床歯科医学を総合的に学習し知識を深める				
学習上の注意事項					
評価方法	■　筆記試験　　□　実技試験　　□　口頭試験　　□　その他（　　）				
教科書	最新歯科衛生士教本　歯科予防処置論・歯科保健指導論　第2版 ポイントチェック　歯科衛生士国家試験対策⑤ 最新歯科衛生士教本　歯周病学　第2版 歯科衛生学シリーズ　歯科補綴学　　歯科衛生学シリーズ　歯科矯正学 歯科衛生学シリーズ　小児歯科学　　歯科衛生学シリーズ　歯科放射線学				
教材					

授業計画	
回数	授業内容
1	歯科予防処置①②　まとめ（専任教員）
2	歯周療法学①まとめ（瀧波先生）
3	歯周療法学②まとめ（鈴木先生）
4	歯科補綴学まとめ　（坂野先生）
5	歯科矯正学まとめ（田中先生）
6	小児歯科学まとめ（内山先生）
7	歯科放射線学まとめ（福島先生）
8	

科目名	臨床実習②	年次	3	単位	13
				時間数	585
講師名	臨床実習講師	授業形態	実習	実習日数	83.5
目的	口腔保健の専門職として、学内で習得した知識・技能・態度を臨床及び臨地実習の場において実施できる能力を身につける。				
到達目標	1. 口腔保健を担う専門職として、必要な知識を身につける。 2. 臨床及び臨地の場における歯科衛生士の役割を理解し、実践する。 3. 対象者の問題を総合的に把握し、理解する能力を身につける。 4. 保健･医療・福祉の場において、他職種と協働する能力を身につける。 5. 患者様の「からだ」や「こころ」の状態を思いやり、信頼関係を築けるような対応を身につける。 6. 自己を客観的に評価し、自らを向上することのできる能力を身につける。 7. コミュニケーション能力を身につける。				
評価方法	□ 筆記試験　□ 実技試験　□ 口頭試験　■ その他（　　）				

内容

1. 歯科診療所

・医療人としての人間性や倫理観、コミュニケーション能力を習得するために、臨床における歯科衛生士の役割を理解し、実習生としての基本的な態度を身につける。

・う蝕予防に対して必要な臨床手技・知識を習得する。

・歯周病予防に対して対して必要な臨床手技・知識を習得する。

・口腔の保健管理を行うために必要な情報の収集、継続的指導に関する知識と技のを習得する。

・歯科診療補助を行うにあたり、共同動作の基本とルールを理解し、臨床手技を習得する。

・材料薬品を取り扱う為に、性質を理解し、臨床現場での取り扱いや管理の方法を習得する。

・感染予防策に関する知識、技能を習得する

・矯正治療の補助のために必要な臨床手技・知識を習得する。

2. 病院

①外来

・口腔外科における器具器材の取り扱いを理解する。

・薬剤・服薬指導について理解する。

・外科手術の補助（直接補助、間接補助、手術室の見学を含む）を学ぶ。

・口腔外科における歯科衛生士の役割を理解する。

・感染予防策に関する知識、技能を習得する。

②病棟

・バイタルサイン測定に必要な技能態度を身につける。

・日常的口腔ケアの方法を理解する。

・生活介助を理解する。

・全身疾患を理解する。

・他職種（特に看護師）との連携を理解する。

3．臨地実習施設

①福井口腔保健センター

・障害者歯科診療に必要な技能を習得するために、障害者の特性を理解する
と共にその対応法を学ぶ。

②福祉施設

・高齢者の方の身体的・心身的特徴を理解し、ＱＯＬの向上と口腔機能の向上に必要な対応法を習得する

科目名	介護概論	年次	3	単位	1
				時間数	16
講師名	坂口　昌弘・北川理恵・石田佳代子 長谷川　大輔・大橋　恵	授業形態	講義	授業回数	6
到達目標	歯科口腔介護に係る法的・制度的背景とチームケアについて理解する。				
学習上の注意事項					
評価方法	■　筆記試験　　□　実技試験　　□　口頭試験　　□　その他（　　）				
教科書	歯科衛生学シリーズ　高齢者歯科学 最新歯科衛生士教本　保健整体学　第3版				
教材	プリント				

授業計画	
回数	授業内容
1	地域包括支援センターの業務内容等（北川先生） 範囲：教科書P.33～37 内容：教科書P.33の到達目標が達成できる内容でお願いします。
2	在宅要介護の方の生活実態（石田先生）
3	在宅サービス（デイ・ショート）利用者様の生活実態（大橋先生）
4	特養、ＧＨ等入居施設での生活実態（長谷川先生）
5	高齢者の健康に関わる法制度（坂口先生）
6	高齢者の健康に関わる法制度（坂口先生）

科目名	接遇作法・話法②	年次	3	単位	1
				時間数	16
講師名	上村　泰子	授業形態	講義	授業回数	8
到達目標	歯科衛生士として社会で働く上での常識マナーを学ぶ。				
学習上の注意事項					
評価方法	■　筆記試験　　□　実技試験　　□　口頭試験　　□　その他（　　）				
教科書					
教材	プリント				

授業計画	
回数	授業内容
1	実習先における対人関係について マナーの基本確認 コミュニケーションの基本と3要素の重要性理解
2	コミュニケーションに活かす交流分析
3	コミュニケーションに活かす交流分析
4	コミュニケーションに活かす交流分析
5	コミュニケーションに活かす交流分析
6	履歴書添削 面接実習 振り返り
7	面接実習 面接評価
8	まとめ